

掲載論文の取り消しについて

2020年7月20日
一般社団法人 日本形成外科学会
機関誌編集委員長 多久嶋亮彦

日本形成外科学会会誌に掲載された以下の論文は、本委員会で審議ののち、2020年5月11日の電磁的理事会において投稿規程1. 投稿の資格, 条件, 方法3) に違反する多重投稿であると確認されましたので、この論文を無効とし、掲載を取り消いたします。

巻号 (発行年月), ページ	40巻1号 (2020年1月), 5~11
論文名	正中頸裂; 外科的治療に関する考察と長期経過観察
著者	渡辺晃大*, 大塚尚治*, 田村 聡*, 根本哲生**
所属施設	*昭和大学横浜市北部病院 形成外科 **昭和大学横浜市北部病院 病理診断科
事由	他誌 (『頭頸部外科』 Vol. 22 No. 2, 241~245 pp, 2012 「正中頸裂の1例」) に掲載された論文における症例と同一症例であることについて、適切な引用・申告がない。

機関誌編集委員会は今回の事態を受けて、投稿倫理に配慮された論文かどうかについて一層の注意を払い、編集作業に取り組みたいと考えております。

会員各位におかれましては、当該論文を引用されることのないようお願いいたします。また、論文の執筆に際しては投稿規程を精読し、遵守したものであることを確認したうえでご投稿くださいますようお願いいたします。

以上